

# 令和6年度 栗原市議会 議会報告会

開催日：令和6年10月26日（土）

会場・時間：資料11ページ参照

## 次 第

1 開 会

2 挨拶

3 議員自己紹介

4 議会報告

(1) 常任委員会、特別委員会等の調査活動報告

- ① 総務常任委員会（3ページ）
- ② 産業建設常任委員会（5ページ）
- ③ 文教民生常任委員会（7ページ）
- ④ 議会のあり方調査特別委員会（9ページ）
- ⑤ 市議会における要望活動（11ページ）

(2) 意見交換

- ① 各委員会の調査活動報告等に関する意見交換
- ② その他

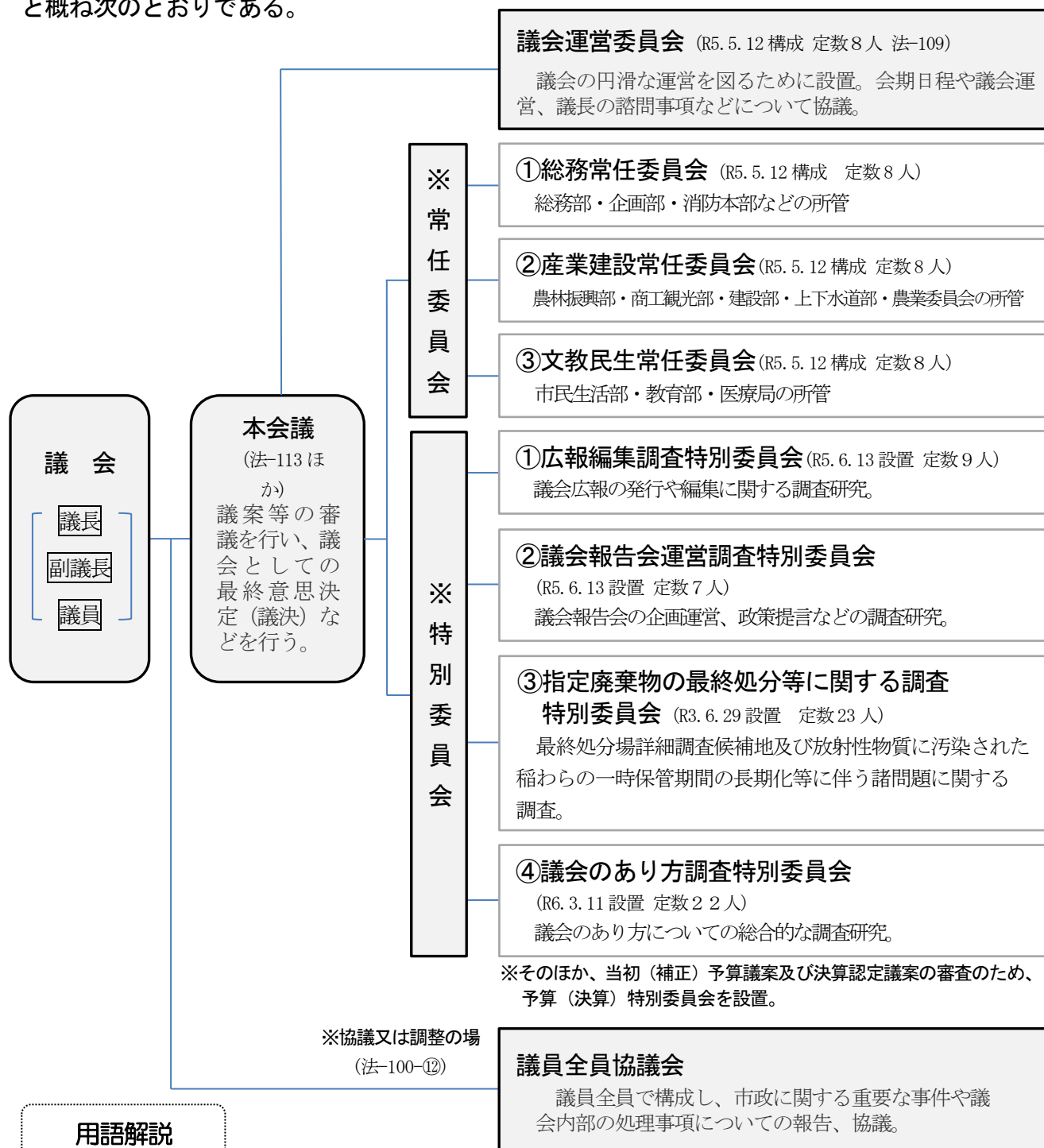
5 閉 会

## ～ 議会報告会に参加される市民の皆様へ ～

- 1 本日の議会報告会は、栗原市議会が主催で実施するものであります。  
市民の皆様から、さまざまな御意見をいただき、意見交換を行う場として位置づけておりますので、議員個人の見解を求めるような御発言は御遠慮願います。
- 2 本日、市民の皆様からいただいた御意見への対応結果につきましては、「くりはら市議会だより」に概要版を、市のホームページには全体を掲載して報告する予定です。また、本日回答ができなかった質問につきましては、持ち帰らせていただき、その結果を前述と同様に報告する予定です。
- 3 議会報告会の報告書作成のため、写真撮影及び録音を行わせていただきますので御理解願います。

## ～ 栗原市議会の構成図 ～

議会は、議事機関としての役割を担い、議会の活動に必要な内部組織として、常任委員会、特別委員会などが設置されている。現在、栗原市議会において設置されている組織を図に表すと概ね次のとおりである。



### 用語解説

- 議事機関**：地方公共団体の行政運営の基本的事項の審議を行い、決定する機関。  
議会は、議事機関として位置づけられている。(憲法第93条)
- 常任委員会(法-109)**：議案などを専門的、能率的に審査・調査を行うために設置できる。
- 特別委員会(法-109)**：特定の問題について調査研究を行うために設置できる。

## 総務常任委員会

### ◇主な調査活動等の状況（※定例会中の付託議案審査は除く。）

調査時期	調査事件
令和6年5月14日	① 災害時における避難計画とその実行性に関する調査 ② 自主財源の動向と確保策に関する調査
令和6年7月8日	③ 市内の救急業務体制に関する調査

### ～ ① 災害時における避難計画とその実行性に関する調査 ～

#### 1 調査目的

災害時における避難計画とその実行性を把握するため。

#### 2 調査概要

上記について、担当職員から聴き取りによる調査を行った。

#### 3 本市の現状

令和6年1月1日に発生した能登半島地震に際しては、栗原市では被災地で必要な物資の支援やトラック協会との調整を迅速に行い、1月3日に先遣隊を派遣している。今回の支援では、これまでの様々な災害の経験が活かされたものであり、今後も災害の記憶を風化させず、災害の体験や教訓を次世代につなげることが重要と考える。

栗原市では、市政情報や防災情報等を発信するため、令和5年11月にテレビのデータ放送サービスを利用したテレビ回覧板の運用を開始し、市民が防災情報を受け取れる手段の拡充を図っている。

#### 4 調査結果（所見）

令和6年度には、鶯沢地区の集約避難所として位置づけられている鶯沢公民館に冷房設備を整備する予定となっているが、冷房設備が未整備の集約避難所についても、計画的に整備を進めるべきである。

また、自ら避難することが困難な避難行動要支援者ごとに作成する個別避難計画については、すべての要支援者が安全に避難できるよう地域全体での連携と支援体制を強化すべきである。

## ～ ③ 市内の救急業務体制に関する調査 ～

### 1 調査目的

市内の救急業務体制を把握するため。

### 2 調査概要

上記について、担当職員から聴き取りによる調査を行った。

### 3 本市の現状

市内の救急出場件数は年々増加しており、令和5年度では過去最多の3,906件に達した。この増加の主な理由は、高齢者の救急搬送の増加によるものである。

救急出場件数が増加する中で、119番通報があってから現場に到着する平均時間は令和5年度で11分39秒となっている。この到着時間をカバーするために、救急支援活動として、ポンプ隊が救急支援として駆けつける「PA連携※1」を実施しており、ポンプ車にAEDなどの応急処置機器を積載し、救急車に乗る資格を有する者が乗車し、救急車が到着するまでの間に応急処置を行っている。

また、消防団員数については、令和6年4月現在で1,369人であり、5年前と比較して186人減少している。新たな団員の獲得に向けた施策として、今年度からは、消防団活動推進動画の配信や消防団の募集チラシを各家庭に配布するなど、新たな取り組みも始めている。

### 4 調査結果（所見）

今後も、市民の生命を守るため、より迅速で円滑な救急支援体制の強化と、火災・災害時の消火・救急活動など地域の安全確保のため消防団員の確保に努めるべきである。

※1 消防隊と救急隊が連携して救急業務を行うことの総称で、消防車（Pumper）と救急車（Ambulance）の双方の頭文字をとったものです。

## 産業建設常任委員会

◇主な調査活動等の状況（※定例会中の付託議案審査は除く。）

調査時期	調査事件
令和6年8月2日	① 食料・農業・農村基本計画に関する調査 ② 栗原市農業再生協議会の令和6年1月臨時総会並びに令和6年6月総会の資料内容に関する調査 ③ 栗原東大橋の建設工事に関する調査

### ～ ②栗原市農業再生協議会の令和6年1月臨時総会

#### 並びに令和6年6月総会の資料内容に関する調査 ～

#### 1 調査目的

栗原市農業再生協議会の令和6年1月臨時総会並びに令和6年6月総会の資料内容を調査し作付け計画などの達成状況を把握するため。

#### 2 調査概要

上記について、担当職員から聴き取りによる調査を行った。

#### 3 本市の現状

令和5年産米の需給調整実施状況では、地域間調整351haを含めた生産目安8,269haに対して実績は8,533haで、目安に対して264ha未達成であった。令和6年度の需給調整作付誘導計画では、主食用米の作付計画は7,918haで、616haの転作拡大が必要である。計画では、飼料用米や加工用米、ホールクロップサイレージ用稲、大豆などの作付を促進し、転作を達成する方針であるが、産地交付金の単価と交付上限額が減額傾向にあるため十分な支援が難しくなっている。

#### 4 調査結果（所見）

市としては、農業再生協議会が示す作付誘導計画を農家に丁寧に説明し、作付計画を達成することが重要となり、これにより米価の安定が図られる。

今後は、農業再生協議会の計画を早期に農家に説明して、協力を得ることが必要である。また、産地交付金の単価が減額されることによる減収分を補い、農業所得を更に向上させるための対策を検討するべきである。

### ～ ③ 栗原東大橋の建設工事に関する調査 ～

#### 1 調査目的

栗原東大橋の建設工事を調査し、今後の工事計画と進捗状況を把握するため。

#### 2 調査概要

上記について、担当職員から聴き取りによる調査と現地調査を行った。

#### 3 本市の現状

市道大林線（仮称）栗原東大橋道路整備事業は、現在、令和5年度から着工している橋梁橋台工事と地盤改良工事が進められており、令和6年度には橋梁上部工工事及び地盤改良工事が新たに契約されている。

令和6年度末の工事進捗見込は、全体事業費の6.2億円をベースとして、約60%を見込んでおり、今後は、橋と接続する市道の道路改良工事を行い令和9年10月の開通目標としている。

#### 4 調査結果（所見）

現在、構造物を設置するために不可欠な地盤改良工事を進めているが、施工箇所と住宅が隣接していることから、住宅等に影響がないよう十分な地盤調査結果を基に適切かつ安全な工事を実施し、地域住民の理解を得られるよう丁寧な説明が必要である。

## 文教民生常任委員会

### ◇主な調査活動等の状況（※定例会中の付託議案審査は除く。）

調査時期	調査事件
令和6年4月25日	① 若柳・志波姫公民館の現状に関する調査 ② 栗原中央病院におけるマイナ保険証の利用状況に関する調査
令和6年7月8日	③ 市のゼロカーボンシティの達成に向けた取り組みに関する調査

### ～ ② 栗原中央病院におけるマイナ保険証の利用状況に関する調査 ～

#### 1 調査目的

栗原中央病院におけるマイナ保険証の利用状況を把握するため。

#### 2 調査概要

上記について、担当職員から聴き取りによる調査を行い、その後、栗原中央病院の現地調査を行った。

#### 3 本市の現状

マイナ保険証は、健康保険証の情報をマイナンバーカードに紐付けし、健康保険証としても利用出来るよう一体化する制度であり、栗原中央病院では、令和3年10月20日よりマイナ保険証によるオンライン資格確認の導入を開始している。

窓口でマイナ保険証を利用することで、手続きなしで高額医療の限度額を超える支払いが免除されることや、保険料で賄われている医療費を20円節約出来るなどのメリットがある。その一方で、個人情報漏洩のリスクがあるなどの負のイメージがあり、同病院での利用率は令和5年度末で1.9%にとどまっている。これは本市に限ったことではなく、全国的にも低い利用率となっている。

#### 4 調査結果（所見）

今後、国においてはマイナ保険証の利用を促していく取り組みが行われるようだが、本市においても、マイナ保険証を安心して利用出来ることや、利用することによるメリットについて市民にどのように周知していくのかを検討され、利用率アップに繋がるよう努めてほしい。



## ～ ③ 市のゼロカーボンシティの達成に向けた取り組みに関する調査 ～

### 1 調査目的

市のゼロカーボンシティの達成に向けた取り組み状況を把握するため。

### 2 調査概要

上記について、担当職員から聴き取りによる調査を行った。

### 3 本市の現状

市では令和6年2月9日に、「栗原市ゼロカーボンシティ宣言」を表明した。ゼロカーボンとは二酸化炭素を実質ゼロにするという意味ではあるが、二酸化炭素を全く排出しないという意味ではなく、森林が持つ二酸化炭素を吸収する力なども加味し、排出と吸収の足し引きで実質的にゼロとするものである。

市においては、個人や家庭レベルで取り組めるエコ活動について、全30項目をまとめたチラシ「ひとりひとりができる くりはらエコチャレンジ」を作成し、毎戸配付等で周知を行っている。しかし、市民の認知度は決して高いものではなく、市民一人一人が具体的に何をすべきなのかについて浸透していない状況にあると考える。

### 4 調査結果（所見）

今後は、これまで以上に市民一人一人が興味・関心を持ち、自分事として取り組んでもらえるよう積極的に広報やイベント等で周知をされることを望むものである。また、同宣言の中にもある「豊かで美しいくりはら」を未来の世代に継承していけるよう、市民・事業者・行政が協調してゼロカーボンシティの達成に向けて取り組むべきである。

## 議会のあり方調査特別委員会

### ◆ 特別委員会の設置目的

これまでの栗原市議会の議会活動を検証し、今後の栗原市議会のあり方について総合的に調査・研究を行うことを目的に設置。

### ◆ 調査概要

令和6年第1回（2月）栗原市議会定例会において設置された栗原市議会のあり方調査特別委員会は、2つの小委員会を設置し、それぞれの調査事項に係る調査を行うとともに、各小委員会からの報告をもとに、8回の調査を実施し、これまでの調査内容をまとめたものを、中間報告として第3回（9月）栗原市議会定例会において報告を行っている。

なお、議員定数については第3回定例会において、3人削減する条例案が可決しており、その他の調査事項については、調査継続中である。

### ◆ 調査項目及び報告内容

#### (1) 議員定数について

小委員会での協議では、削減という意見が多く、削減する場合は2人減、次いで4人減という意見が多かった。また現状維持とする意見も出され、小委員会としての結論には至らなかったため、特別委員会に定数についての協議が依頼され、特別委員会で協議を行ったところ、以下のような意見が出された。

#### 【現状維持とする意見】

- ・ 議会は、市政に市民の多様な意見を反映させた政策立案や行政の監視や地域課題の解決に向けた議論を行う重要な機関であることから削減すべきではない。
- ・ 議会は二元代表制の一役を担う重要な役割であり、十分に議論を行ってから決めるべきである。

#### 【削減とする意見】

- ・ 面積や人口規模が同程度の自治体の議員数などを踏まえると削減すべきである。
- ・ 人口減少が進む中、議員定数を現状のままとすることは市民の理解が得られない。
- ・ 定数削減によって得られた予算を少子高齢化政策に充てるべきである。

協議の結果、時期については、第3回定例会で決定することとしたが、定数については、現状維持、2人削減、4人削減の3案が示され、令和6年7月22日の特別委員会で再度協議の結果、削減についての賛否を投票により採決することとなった。

出席委員20人中、削減に賛成が11、反対が9となり、賛成多数で削減という結果となったことから、これをもって委員会の結論とすることとした。

## ◇令和6年第3回定例会での決定事項

第3回定例会の最終日である10月3日に、削減に賛成する議員の発議による「栗原市議会議員定数条例の一部を改正する条例案」が提出され、採決の結果、賛成多数（賛成13，反対9）で可決、来年度に行われる市議会議員選挙より、定数を現行の24人から3人削減の21人とすることに決定した。

### (2) 議会選出監査委員について

議会選出監査委員については、識見監査委員に監査を委ね議員は議会活動に専念するため廃止すべきとの意見もあったが、市民の代表として市の事業や政策を十分に把握した上で監査に臨む、議会の監視機能が必要であり、議会選出監査委員は議会活動を優先すべきとの意見が多くを占めた。今後も、議会選出監査委員は必要であり、議会及び各委員会などの議会活動を最優先にして監査委員の任務にあたることが望ましい。

### (3) 栗原市議会基本条例の検証について

市民に信頼される開かれた議会づくりのため、議会の最高規範である基本条例について目的が達成されているか、継続的かつ定期的に検証を行う必要があることから、検証主体や検証期間について条例に明記するとともに、検証の手順等を定める要領が必要である。

### (4) 栗原市議会議員政治倫理条例について

近年、ハラスメントが大きな問題となっている情勢を鑑み、ハラスメントに関する条項を追加し、栗原市議会としてもハラスメントを行わないという姿勢を改めて示す必要がある。

### (5) 政務活動費について

政務活動費を利用した広報紙の作成について、会派に所属しない議員が広報紙を作成する場合にも認めることとし、取扱要綱の改正を行うとともに、併せて運用指針についても所要の見直しが必要である。

### (6) インターネット等の誹謗中傷の対応について

議員に対するインターネット等の誹謗中傷があるが、市民等にも該当するものであり、議会のみでなく、市全体で検討すべきものとする。

## 市議会における要望活動

### 1 宮城県知事・宮城県議会議長に対する要望活動

件 名	提出先
①拙速な宿泊税導入に反対する意見書について	宮城県知事
②拙速な宿泊税導入に反対する要望書について	宮城県議会議長

### 2 地元国会議員と関係省庁に対する要望活動

件 名	提出先
③汚染稲わら等、放射能濃度の高い汚染廃棄物の処理を求める要望書について	環境大臣
④現行の健康保険証の存続を求める要望書について	厚生労働大臣
⑤子どもの医療費助成制度の充実強化を求める要望書について	こども家庭庁
⑥学校給食費の完全無償化を求める要望書について	文部科学大臣
	地元国会議員

## ～ 令和6年度 栗原市議会 議会報告会開催日程等一覧 ～

開催日 令和6年10月26日（土）

地 区	会 場	開催時間	担 当
築 館 志波姫	市民活動支援センター (築館総合支所2階)	午前の部 10:00～12:00	1班
瀬 峰 高清水	高清水総合支所	午後の部 14:00～16:00	
若 柳 金 成	若柳公民館	午前の部 10:00～12:00	3班
栗 駒 鶯 沢	栗駒伝統文化の伝承館 (みちのく伝創館)	午前の部 10:00～12:00	2班
一 迫 花 山	花山公民館(石楠花センター)	午後の部 14:00～16:00	

